

3月

カトリック麹町教会

# MAGIS

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

イエスがたたく希望の扉をひらいていこう 新たにつながるために 2030年に向けて一歩ずつ



## 地震と戦争

協力司祭 ハビエル・ガラダ

トルコとウクライナの写  
真は、自然の恐ろしさと人  
間の悪意を示します。  
選べない自然には悪意が  
ないけれども、自由な人間  
による死と破壊はまったく  
の悪意を物語るのです。  
戦争は愚かな不条理で  
す。戦争と不平等な貧困  
は、人類の最も酷い罪です。  
各国は、貧しい国々への支援  
を避けて、国民のサラリー  
を上げないで、莫大な金額  
を使ってきわめて強力な武  
器を集めます。  
昔の王様たちは一番先頭  
で戦っていました。現代、戦  
争の責任者は若者を殺し合  
いに送って、立派な部屋で偉

そうなことを言っています。  
その方々にこそ戦場に出る  
義務があれば、戦争はうん  
と少なくなるでしょう。法  
務大臣も、立派なデスクに  
座って判子を押してから、  
自分自身の手で死刑の執行  
をする義務があれば、現状  
は変わるかもしれません。  
戦争や諸問題の本当の解  
決は、力ではなく話し合い  
と譲り合いです。数か月前  
に教皇フランシスコが言わ  
れた通り、世界には本当の  
権限のある公平な場は必要  
です。このような問題が話  
し合って決められる場は必  
要です。

法を断ります。また、話し  
合いが「勝った」という勝利  
感に欠けて人間の高慢を満  
たさないのが、拒否されま  
す。

つまり、エゴと高慢は話し  
合いを妨げるわけです。キ  
リストの弟子である私たち  
は、今から、この解決の実現  
のために祈りながら、自分  
なりに働きかけるのが良い。  
そして、日常生活の家庭、仲  
間、仕事などの諸問題を、話  
し合いをもって解決してみ  
るのが良いでしょう。

しかし、本当の話し合いに  
は守りにくい条件がありま  
す。一つ目は、両側は自分  
の意見を絶対的な真理にし  
ないという条件です。二つ  
目は、絶対性を抜いた生の  
意見を出して、協力的に真  
ん中に隠れている真理を探  
求するという条件です。

それを邪魔するエゴと高  
慢を完全になくすることはで  
きませんけれども、その反  
対行動をとることはできま  
す。

高慢の反対行動は、感謝  
から生まれる謙遜です。  
エゴイズムの反対行動は、  
人に助けを惜しまないとい  
う愛です。人が助かるため

### 教会報 MAGIS 3月号

- † 新年祝賀会 2023  
～わたしたちの希望～
- † 3年ぶり！日曜学校のお餅つき
- † Family of St. Ignatius  
～ベトナム語圏から～
- † 教会活動グループ便り ①
- † 新連載 光をつないで ③

P2  
P3  
P4  
P5  
P6

### トルコ南東部地震救援募金のお願い

菊地功東京大司教から、「被災された方々に祈りを通して寄り添い、復興の道のを支えて参りましょう」とのメッセージと共に、カリタスジャパンを通じた募金が呼び掛けられています。

郵便振替：00170-5-95979

加入者名：宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

\*記入欄に「トルコ地震」と明記してください。

\*ウクライナ支援の募金も受け付けています(記入欄に「ウクライナ危機支援」と明記)。

詳しくはカリタスジャパンのウェブサイト

(<http://www.caritas.jp/donate/>) を参照。



に人に仕えるという姿勢で  
生きることで。つまり、  
「愛し合う」ということで  
す。

【3月の共同祈願】

† 四旬節中の祈り

私たちの教会、インターナショナル共同体が、  
四旬節の中で、心を神さまに向け直し、  
回心して、神と人ともに仕える私たちに、  
生まれ変われますように。

担当：ザビエル会

【ミッション 2030 -前文-】

私たち聖イグナチオ教会は、  
祈りに基づく使徒的共同体を生きていきます。  
現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、  
環境破壊など、未来に希望を見出しにくい  
反福音的なものに脅かされています。  
それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、  
いつくしみの扉を開いていきます。  
私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、  
貧しい人や弱い人の声を聴き、  
皆でともに手をたずさえて(日本人も外国人も、若いも若きも)、  
福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。

新年祝賀会

オンライン新年祝賀会2023  
わたしたちの希望

1月8日(日) 11時よりヨセフホールにて、オンラインで新年祝賀会が行われました。神父様とシスターの方のビデオによる新年の挨拶から始まり、サトル・オチヨア主任司祭と彫刻家・中野滋さんが主聖堂のイエス像とマリア像について対談を行いました。

新年の挨拶

初めに、11名の神父と2名のシスターから寄せられたビデオメッセージが紹介されました。会場にいらしたオチヨア神父からは改めて「戦争、コロナなど問題はありますが、神の恵みに信頼して大きな望みを持ちたいです。『教会が持っているよいものをよく知る』ことを心がけましょう。今年はいエス像とマリア像です。2つの像には祈りが込められています。よく味わって、祈りをもっと強く、深くしていきましょう」と話されました。  
続いて、信徒代表の齋藤順子さんが挨拶され、

土曜学校の子どもたちが描いた家族の絵と日曜学校の子どもたちによる歌が披露されました。

対談・

復活のイエス像とマリア像

オチヨア神父  
VS 彫刻家・中野滋氏

司会 イエス像とマリア像はイメージがだいぶ違いますが、実は作者は同じ、中野滋さんです。

オチヨア(以下、敬称略)よく誤解されますが、このイエスは天国に昇って私たちが離れてしまうわけではありません。手の向きを見ればわかります。十字架から降りて永遠の命に入っている。いつまでも私たちと一緒にい



るイエスです。

中野 製作にあたり、聖地エルサレムへ向かいました。聖墳墓教会で出会った一人の修道士の後姿が印象に残り、プロポーションを思いつきました。私たちが招き入れている姿にしたかったので、手は下げました。壁の凹凸がガララヤ湖のイメージで、十字架はレンガのレリーフで表現しています。色はスペインのサンチャゴの聖堂のイエス像からヒントをもらいました。このブロンズ像は①ろう②石③ろう④ブロンズと4つの

工程で作られ、たくさんの職人の手を経ています。問題が未解決のまま工事が始まった箇所もありましたが、皆の力を合わせるといって教会のミッションを成し遂げられたと思います。  
オチヨア 2001年発行の教会報にマリア像のことを書きました。子どもの時に見たマリアさまは星の冠をつけた女王様のイメージでしたが、このマリア像は隣のお母さんみたい。手をお腹の上で合わせて、体の中の神秘を守っている。何も履いていない。触ってみたくありません。このマリアは最初から石の中にいて、「作った」より「掘り出された」。私たちが信仰の芽を育て、見抜いて、掘り出すことができたらいいます。  
中野 献堂式から2年遅れてマリア像ができました。今、手がけている聖母子像を今年中に完成させたいと思います。  
オチヨア 今年はこの教会の宝を知り、味わい、伝えていきましょう。

教会学校

3年ぶりに戻ってきた！

日曜学校のお餅つき

教会学校では一年を通してたくさん行事があります。コロナ禍により中止・縮小が続いていましたが、新年最初の行事となるお餅つきが久しぶりに行われました。リーダーと参加した子どもからの楽しい報告をご紹介します。



お餅とゲームで初春を祝う

1月15日(日)に日曜学校の新年会が行われ、3年ぶりにお餅つきを行うことができました。リーダーた

ちにもノウハウがない中で、多くの方々からご助言をいただき、準備を進めました。当日は、日頃の活動を上回る60人以上の子どもたちとともに、お餅つきやゲームを楽しみました。お餅つきでは、臼や杵をはじめ見たり触ったりした子どもたちもたくさんおり、その迫力に驚きの声が上がっていました。

そして最後に、ついたお餅をいただく体験をし、一口サイズの餅をたくさん食べる子どもたちの姿が見られました。

食べ物について神さまに感謝を伝える機会となればと願っています。



最後になりましたが、神さまの導きのもと事故なく終えることができたこと、大変ありがたく思います。今後も子どもたちの居場所となる教会学校を目指して努めていきます。

(日曜学校リーダー 岩崎華子さん)

一人で杵を持てたよ！

お餅つきはマリアクラスの時から最後で、3年も経ってしまったので、お餅のつきかたは覚えていませんでした。一人で杵を持てることができました。

お餅は20個くらい食べました。友だちは30個以上食べる子もいました。美味しかったです。またやりたいです。(日曜学校 RKさん)

教会の福祉関連グループから

「新年炊き出し」を実施

1月2日(月)に炊き出しを行いました。これまで外部の団体に場所を提供してきた「おとな食堂」とは違い、今回は、教会の福祉関連グループを中心として、有志が集まって実施する初めての試みです。

当日は、朝から教会パントリーでちらし寿司300食を作製し、缶詰や保存食、どら焼き、カイロ、マスクなどと一緒に配布しました。開始予定の12時のだいぶ前には、教会前に長い行列ができたので、少し早めに配り始めました。寒い中を待つて貰っていたので、天候に恵まれて良かったです。受け取りに来られた皆さんは、普段の月曜日にカレーの会



に来られている人たちが多く、おじさん達に混じって、親子連れや若い女性の姿も見られました。

炊き出しは、大量に作りやすい汁物であることが一般的なので、ちらし寿司は好評でした。配布したものは、マリアテレジア基金からの支援の他、シャルトル聖パウロ修道女会九段修道院や個人からの寄付によって賄いました。

運営には、普段からこうした活動をしている人・していない人、いろんな人が集まりました。小さな取り組みではありますが、社会に向けて、心を開いてつながっていく機会が得られたことに感謝しています。折角踏み出した一歩ですので、反省点を改善しながら、こうした活動を続けていければと願っています。生活に困っている人たちへの支援に、より多くの信徒が参加して貰えるように、さらに工夫していきたいと考えています。

教会行事

1月の主な教会行事をご紹介します。

●成人式ミサ

1月8日(日) 18時から新成人17名とその関係者が主聖堂に集まりました。

説教で司式のサトルニノ・オチヨア神父は福音朗読を受け「あなた方はこの社会の黄金です。社会人として責任を持ち、理想と現実のギャップに苦しむ時は謙遜に神に祈りましょう。どんな時にも失望せず、人生で起こる全ての苦しみを信仰、希望、愛によって乗り越え、自分のためだけでなく、他人のために生きることができまますように」と話されました。



▲新成人の祝福を受けて。左から角田神父、ポニー神父。

共同司式のポニー・ジェームス神父、角田佑一神父と共に祝福をされ、新成人は永遠の命のしるしとして復活のローソクの祝福にも与りました。

●成人式祝賀会

ミサの後、ヨセフホールにて19時半から約1時間行われました。オチヨア神父、ポニー神父と共に、新成人14名が参加。ポニー神父からは、配布された資料を元にワールドユースデーについての説明がありました。

その後ゲーム大会をして、和やかな時を過ごしました。

●サントニーニョフェスティバル

1月22日(日) 16時半から主聖堂で、伝統的なフィリピンの祭りサントニーニョ(聖なる幼きイエス)フェスティバルが行われ、フィリピン人だけでなく日本人も含めた他の国籍の信徒も大勢参加しました。

司式はダニロ・ムティア神父。ミサでは、来場者が自宅から持参したサントニーニョ像も祝福されました。これはキリスト教がフィ

リピンに伝わったのを記念して賛美と感謝を捧げる祭りで、最初のサントニーニョ像は、1521年にポルトガル人の探検家フェルディナンド・マゼランがセブ島のファナ女王に贈ったものでした。植民地時代の戦火のなかでも無傷だったため、以来フィリピン最古の教会でセブ島のサントニーニョ教会にある御像は、奇跡の守護神として崇拜されるようになりました。教会も1965年にローマ教皇よりバシリカ・ミノレ(教会堂)の称号を与えられました。

主イエス・キリストは、幼児としてこの世に生まれたので、サントニーニョフェスティバルは、「私たちはキリスト教の教会に属する神の子どもたちである」というメッセージを、国籍、文化に関わらず多くの信者に届けています。(ケイ・タバタ、ファレリアウレリア訳)



▲サントニーニョ像



Family of St. Ignatius

～ベトナム語圏から～

ベトナム人青年会の2022年大晦日

日本で生活しているベトナム人がクリスマスや年末年始に家族のことを懐かしくて、寂しくなる傾向があります(おそらく他の外国の方々も同じです)。当教会に集まっているベトナム人青年会が以前から毎年の大晦日の夜、どこかの場所を借りて、お互いを励まし合うために、集まる習慣があります。今年ヨセフホールを借りることができ、約100人の集まりになりました。とても良かったです。

12月31日の昼から会場を準備するために、何人か教会にきました。ヨセフホールにはステージを始め、机や椅子などを並べて、ベトナムのお正月の雰囲気になりました。

夜8時からマリア聖堂にて感謝のミサがあり、一年間自分と家族が頂いた恵みに対して、特に生きて

いる恵み、神様に感謝して、来年もイエスの弟子として、生きていくことができるように祈りました。その中で、貧しい人々や病気を患っている人々や災害で苦しんでいる人々のためにも、祈りました。



ミサが終わってから、ヨセフホールに移動して、踊りや歌などで一緒に楽しみました。このようにして、2022年の大晦日と一緒に過ごすことができました。

いつも教会に通っている青年たち、教会のいろいろな仕事を一緒にして、大晦日の夜、特別な夜と一緒にいて、2023年も元気で、一緒に奉仕できるように祈っていました。(グエン・タン・ニャー神父)

## 活動グループ便り ①

コロナ禍により教会活動はさまざまな制約を受け、変化を余儀なくされてきました。そうした状況下でも、活動グループは工夫し、進化しながら、それぞれの歩みを進めています。現在の活動状況について各活動グループから寄書していただき、今号から「活動グループ便り」として連載していきます。

### 四ツ谷おにぎり仲間

80〜90名ほどを訪問

四ツ谷おにぎり仲間では、毎週おにぎりを携えて、路上生活者をはじめとする、最低限の生活にも事欠く人々を訪問します。様子を見て、困り事がある時には相談に乗り、福祉事務所や病院への同行などをします。毎週土曜日、おにぎりを作製し、「おにぎり通信」と



※活動グループの活動内容・スケジュール等は変更になることがあります。また講座に初めて参加される方は、講座担当者か教会事務室にご確認ください。

いうお便りと一緒に配ります。訪問しているのは、教会周辺の他、銀座、日比谷、日本橋、秋葉原、東京駅などです。現在は、80〜90名ほどを訪問しています。

訪問を継続することで、信頼関係が築かれます。少人数・屋外の活動ということもあって、コロナ期間中も何とか休まずに続けられたことに、感謝しています。

一方、毎月聖堂前でお米などの寄付を募っていた「献米」は、コロナによって中断しています。生活に困っている方々に、信徒の皆さんの温かい気持ちをできるだけ多くつなげるためにも、そろそろ再開できればと願っています。沢山の方の善意に支えられ、おにぎり仲間の活動は成り立っています。引き続きのご支援を、よろしく願います。

### 美術部

プロ、アマ問わず募集中!

「美術部」ってちょっと変わった名称でしょう? これでも活動グループなんです。

美術部は広報連絡会に所属し、写真チーム、SNS、ホームページ、『マジス』等のグループと共に広報活動に携わっています。具体的には教会行事のポスター作成、クリスマスカードやイースターカード等の印刷物の作成、掲示板の管理を行っています。

残念ながら、ここ数年はコロナ禍であったために教会行事も制限され掲示物の需要も少なく、あまり活動は出来ていませんでした。

そのような状況下でもクリスマスカードやイースターカード、写真チームとのコラボによるカレンダー制作で皆様に喜んで頂けた事は、大きな恵みでした。

さて教会の活動も徐々に再開されて来ているのですが、ここで美術部には人手不足という大きな問題が! 特に今、最も必要なのはポスターや印刷物の作成を

して下さる方です。プロの方でもアマチュアでも、イラストレーター等の画像ソフトをお持ちであればベストですが、ワードでなら出来るという方でも大歓迎です。また、掲示板の管理をお手伝いして下さる方も募集しています。

美術部は基本的に個人での活動になりますが、必要な場合はチームを組んで仕事をすることもあります。

少しでも興味を持たれた方は、教会事務室にご連絡ください。お待ちしております。

### Sr.野本佳子 入門講座

神さまを知り心を整える体験を

日々の中で、いろいろな感情に振り回され、不安や虚しさを感じたりしていませんか。シスター野本佳子の入門講座は、そんな思いを抱いている方のための講座です。イエスの価値観を学ぶ中で、心が慰められ、



神のみ言葉を日常生活の中で生きる喜びを知り、力がわき次第に生き方が変わっていくことでしょう。

聖書とカトリックの教えを自然に学べますので、いつかは洗礼を受けたいと考えていらっしゃる方も、準備を進めることができます。

初心者ばかりの講座ですので、お気軽にご参加ください。一緒に「石の心(固い心)」を柔らかくしていきますよ!

対象: 洗礼を考えている方、心穏やかに過ごしたい方、生き方を見つめ直したい方、子育て中の方

日時: 第1・3水曜日 午前10時30分〜11時45分

※Zoomでの参加は相談を

場所: 信徒会館401号室  
参加方法: 左記にメールを newlifeignatio@gmail.com

●日曜日にも開講●  
平日に来られない方のための入門講座を4月から開講します。

日時: 第2・4日曜日 午前9時30分〜10時45分

場所: 信徒会館302号室

※対象、参加方法は水曜日講座と同じ

# 連載 光をつないで ③ 家族によって強められた信仰

「光をつないで」は、当教会の青年信徒が聞き手となり、信仰上の諸先輩からその人生と神との交わりについての話を聞くことで、神とともにこれからの人生を歩むためのヒントを得ることを目的とした連載です。3回目は、当教会信徒ヘンリコさん(82歳)に伺いました。

※語り手の名前は洗礼名

——戦時下の東京生まれとありますが、当時の記憶はありますか？

母と防空壕に逃げ込んだ記憶があります。空が真っ赤になったこと、空襲の後風が起こって砂塵が目に入り痛かったこと、この二つだけ鮮明に覚えています。両親と私も、兄2人の疎開先に避難することになり、その後東京大空襲によって実家は焼失しました。戦後4年経って、家族で東京に戻りました。

## 気がつけば家族全員 キリスト教徒に

我が家で一番初めに受洗したのは、上智大学に進学した次兄です。直後に母も近所の教会で勉強し、受洗

しました。母は昔教会に通ったものの、父の反対により受洗を諦めたことがあったようです。息子の受洗を聞いて勇気づけられ、情熱を取り戻したのでしょう。

次兄は大学内の聖書の勉強会で出会った女性と結婚し、生まれてきた子どもたちに幼児洗礼を授けました。

長兄にも妻子がいましたが、あるとき妻に乳がんが発覚し、彼女は若くして亡くなりました。長兄は打ちひしがれ、キリスト教に救いを求めて息子2人とともに受洗しました。やがて私の母も帰天し、父も母と同じ信仰を、と受洗に至りました。気がつけば、私以外の家族全員カトリックとなっていたのです。

それで何となく「自分も

いつかは洗礼を受けるのかな」と思っていました。高校の頃から次兄に誘われて上智大学の聖書の勉強会のキャンプに参加し、年上の人たちと夜中まで議論を交わしたりしていました。日曜に家族と連れ立ってミサに行くこともありましたが、ただ当時の私は、家族の中で一種の疎外感を抱いていたと思います。やがて大学を卒業して働き始めましたが、その頃になってもまだ受洗する気にはなりません

でした。就職して数年後、誘われて行ったダンスパーティーで妻に出会いました。高校の

頃から出入りしていた、あの上智大学の聖書の勉強会の主催で、たくさんの方がいました。

妻と交際を始め、いよいよ結婚するようになったときに、次兄から「洗礼を受けて結婚するっていうのは、お恵みが何千倍にもなる。すごく大きな違いなんだよ」と言われました。家族から洗礼について何か言われたのはこのときだけです。それで決心しました。

結婚講座と入門講座を同時に受け、結婚式の10日前に妻とともに受洗しました。一人でできたかはわかりませんが、私の信仰は家族によるものです。家族がいたからこそです。

## 天使のような我が子の誕生と死

一昨年、一人娘を亡くしました。アンジェラという洗礼名の、本当に天使のような子でした。生まれてつき水頭症で6歳までしか生きられないと言われましたが、ゆっくりと、着実に成長してくれました。不平不満や泣き言を一切言

わない子どもでした。娘を亡くしてから、娘の我慢強さが思い出され、彼女の欠点よりも長所を理解するようになりまし。娘の誕生と死を通して、私たち夫婦はよく祈ることを覚えまし

た。——大切にしている聖書箇所を教えてください。

「愛がなければ」(1コリント13:1-3)の箇所です。何をやるにも、愛がなければ、と肝に銘じています。「愛する」という動詞が好きです。私たちはどう愛の行いをするかを日々問われていると思うのです。



現代の社会問題に対する教会のまなざしを学ぶために何度も読み込んだという冊子(写真参照)。たくさん線の線が引かれている中に、ひたすら「幸」の字の書き込みがあるページがあった。「辛」という字が「幸」と似ていることが不思議でならなかったのだと微笑むヘンリコさんの、歩んだ道とその恵みを思った。



何度も読んだという『いのちへのまなざし』(日本カトリック司教団著、カトリック中央協議会、2001年発行版)



## ●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(2月2日開催)

- 2023年度年間予定が確定し承認されました。行事は新型コロナウイルス感染症の状況により随時、開催の内容を検討します。
- 2023年ワールドユースデー・リスボン大会の派遣者を選考します。皆様には支援の寄付をお願いします。
- 灰の水曜日・四旬節・復活祭のミサや集会は、人数制限や聖歌制限などの方針を続けながらも、一部は平常の形に戻していきます。  
イースターエッグは飾り付けの作業ボランティアの公募はできませんが、復活祭での頒布再開を予定しています。(状況により変更になることがあります)
- 「折り鶴プロジェクト」の終了をお知らせします。  
2020年4月から、ミサに直接参加できない代わりに分身である折り鶴を通して主日ミサに与っていただいていた。約3年間続けてきましたが、ほぼ平常通りにミサの参加ができるようになりましたので、今年の復活祭をもって終了することになりました。

## ●人事異動●

4月9日(日)ご復活祭明けから主任司祭が交代します。

・サトルノ・オチョア神父

当教会主任司祭から当教会助任司祭へ

・高祖敏明神父

聖心女子大学学長から当教会主任司祭へ

## ●財務報告●

1月29日(日)世界こども助け合い日の献金 654,033円はローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

## ●トルコ南東部地震救援募金●

2月6日(月)未明にトルコ南東部とシリアで発生した大地震に対する救援募金へのご協力を頂きありがとうございます。主聖堂前で2月18日(土)・19日(日)・22日(灰の水曜日)に募金活動を行いました。募金額1,402,870円はカリタスジャパンが設置した募金口を通して、被災地域で行われる救援活動のために活用されます。

## ●四旬節黙想会●

テーマ：主のおん傷の中に入る

-きょうだいたちの痛みに出会うために-

指 導：堀江節郎神父 (カトリック仙台教区)

日 時：3月21日(火・祝) 10時～講話と黙想  
12時ミサ

場 所：主聖堂

事前予約不要。詳細は教会ホームページをご覧ください。

## ●受難の主日から復活の主日までの典礼●

4月2日(日) 受難の主日(枝の主日)

1日(土) 18:00

2日(日) 7:00 8:30 10:00(オンライン配信)

12:00(英語) 13:30(スペイン語)

15:00(ベトナム語) 16:30(英語) 18:00

※ 15:00(ベトナム語)インターネット個人申込  
その他のミサは予約不要

4月6日(木) 聖木曜日 主の晩餐の夕べ

19:00 予約不要 オンライン配信

4月7日(金) 聖金曜日 主の受難

19:00 予約不要 オンライン配信

4月8日(土) 聖土曜日 復活の聖なる徹夜祭

19:00 インターネット個人申込

但し、洗礼関係者が入堂するので受付

は若干名

オンライン配信

4月9日(日) 復活の主日

7:00 8:30 10:00(オンライン配信)

11:00(ベトナム語) 12:00(英語)

13:30(スペイン語) 18:00

※ 10:00グループ事前申込とインターネット個人申込  
※ 11:00(ベトナム語)インターネット個人申込  
その他のミサは予約不要

- ・グループ(4名以上)事前申込は1ヶ月前から受付。
- ・インターネット個人申込は1週間前の15時から受付。
- ・最新情報は聖イグナチオ教会ホームページ、教会事務室でご確認ください。

## 3月の典礼と行事

3 (金) 初金曜日	十字架の道行 18:45 マリア聖堂 (聖週間前までの毎金曜日)
5 (日) 四旬節第2主日	
8 (水)	傾聴ルーム 13:00~15:00 ヨセフホール
10 (金)	性虐待被害者のための祈りと償いの日
12 (日) 四旬節第3主日	子どもとともにささげるミサ 10:00 日曜サロン 11:00 ~ 12:30 ヨセフホール
18 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座
19 (日) 四旬節第4主日	
20 (月) 聖ヨセフの祭日	
21 (火)	四旬節黙想会
22 (水)	傾聴ルーム 13:00~15:00 ヨセフホール
25 (土) 神のお告げの祭日	
26 (日) 四旬節第5主日	日曜サロン、ミニオリエンテーション 11:00~12:30 ヨセフホール 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。

主任司祭：サトルニノ・オチョア  
 助任司祭：ボニー・ジェームス  
 グエン・タン・ニャー  
 柴田 潔  
 協力司祭：ヘネロソ・フローレス  
 ハビエル・ガラルダ  
 関根 悦雄  
 マヌエル・シルゴ  
 シスター：イベッテ・サンチェス  
 (セントロ・ロヨラ)  
 フロール・フロレーセ  
 (ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

### ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel  
 7:00/12:00/18:00  
 【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel  
 土曜 18:00 日曜 7:00/8:30/10:00/18:00  
 12:00 (English) /13:30 (Español) /  
 15:00 (Việt Nam) /16:30 (English)  
 【月の第1日曜日 1st Sunday】  
 Our Lady's Chapel  
 12:30 (Português) /16:00 (Polski)  
 【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】  
 Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

### カトリック麴町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102 - 0083  
 千代田区麴町 6 - 5 - 1  
 TEL 03 - 3263 - 4584  
 FAX 03 - 3263 - 4585  
<http://www.ignatius.gr.jp>



ホームページ



フェイスブック